

税理士事務所 訴訟時代の生き残り術

～税法以外の法律も、味方、にする～

執筆：鳥飼 重和 弁護士

クローズアップ

第21回

常識に縛られない 心の自由さを



先日も話しましたが、三田先生のフェイスブック、見させてもらっています。



小百合ちゃんはときどき「いいね！」ボタン（良いと思った記事などを知り合いと共有したいときに使う機能）を押してくれているね。ありがとう。とても元気がもらえる。



私もその評価をもらえるとうれしくなります。フェイスブックで人間関係が豊かになる理由が分かります。



「いいね！」も心の伝達だから、ワンクリックだけで人間的な交流をしていることになる。面談のコミュニケーションよりも程度は低いけれど、何もしないよりは人生を豊かにするね。



三田先生流に言えば、フェイスブックでの交流の中にも、夢と冒険とファンタジーの世界があるということですね。



そのとおり。



でも先生のお考えだと、何でも夢と冒険とファンタジーの世界になってしまうのかもしれない。



「人生、何があっても上り坂」が私の信条だから、人生を夢と冒険とファンタジーの世界にすることができる。



先生の楽天主人には参ります。



いやあ、それほどでも。



うれしそうですね。ところで、先生のフェイスブックに書いてあったのですが、
「幸福な人と知能指数はほとんど関係ない。
真面目ということも、富や幸福とあまり関係がない。
頭のよさがかえって成功との関係が少なくなる」
——これって、どういうことでしょうか。



そうか。私の書いた文章を曲解して受け止める人がいるかもしれない。この書き方だと、知能指数の高い人、真面目な人、頭のよい人を馬鹿にしているように読まれかねないからね。でもそうではない。知能指数が高い人で幸福な人は少なくないし、真面目な人で成功して幸福な人もいる。頭のよい人で成功した人も多い。



それを否定はしていないんですね。



私が言いたいのは、幸福や成功について本質的に重要なのは、知能指数や真面目さや頭の良さではない、ということだ。社会の常識ではそれらが重要とされているけど、社会の常識と社会の実際とは異なる。社会の常識って、重要なことを忘れがちところがあるからね。今の学校教育だって人生で最も大切なことを教えていない。



人生で最も大切なことってなんですか？



一言でいってしまえば、心構え。人生をどう生きるかという心の持ち方といってもいい。



「人生、何があっても上り坂」という三田先生の信条も、先生の人生全般における心構えを示すものなのですか？



まさにそのとおり。前も言ったように、私の信条は故安岡正篤師から学んだ。この心構えだと、喜怒哀楽のうち、何があっても喜と楽に導いていける。そのような心構えを持てれば、知能指数や真面目さに関わらず、幸福にもなれるし成功できる。大体におい

登場人物



早川小百合

税理士。税理士事務所に勤務した後、税務関係を専門分野のひとつにしている三田総合法律事務所に移籍した。好奇心が強く、遠慮なく質問や意見を言う性格。



三田弁護士

三田総合法律事務所の代表弁護士。数多くの税務訴訟・税理士賠償責任訴訟を担当し、税理士界をよく知っている。裏表のない率直な性格で、「何があっても上り坂」が信条。

て、非常識なアホの方が大成功しているからね。その典型が織田信長だ。



アホ……前も仰っていましたね。織田信長はアホですか？



織田信長は、たかだか、尾張の小大名の承継者なのに、「天下布武」というどでかいことを唱えた。これってアホでしょう。



周囲には天下を狙える大大名がいたのですから、常識的に考えれば信長が天下を狙うというのはアホに見えたかもしれません。



重要なことは、織田信長の領土は天下からすれば取るに足りない狭さなのに、信長はその狭さに捉われず、心の中の地図では、領地は天下である日本全体になっていたことだ。



与えられた現実には捉われない、心の自由さを持っていたんですね。



そこが重要なんだ。私のいうアホとは、社会常識で創られる限界を平気で超えられる自由人だ。心の器、つまり想像力が普通の人よりはるかに大きいとも言える。ある意味では、アホが歴史をつくったと言える。小百合ちゃん、瞬時に思いつく歴史上の人物は？



ええと、チンギスハン？



彼はアホの中でも桁外れ、言ってみればアホ大王みたいなものだ。その発想、いいね！



ありがとうございます。こういう話を続けると、心の器がどんどん大きくなっていく気がします。



私も最近、そういう友人が増えているので、アホになってきている気がするよ。そういう人たちの特徴って、後ろ向きの話はしないんだ。前向きの話ばかり。



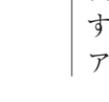
確かに、本来は不確定要素のある未来なのに、未来の発展・成長に焦点をあてられるのは、アホの発想かもしれません。



うん。最近は友人と話していると、現実の限界をはるかに超える話になるから、普通の人なら奇想天外に見えるだろうな。



税理士でも弁護士でも、専門家の話は、現実重視になってしまいます。どちらかと言えば、現実の限界を超える発想はできません。



言われてみると思い当たる。われわれ士業の話は、現実の問題を解決することだから、現実重視になって現実を超える奇想天外な話にはなりづらい。



そうすると、士業という専門家はアホになれず、心の器は大きくない、ということになりそうですね。



でもそれでは、これから困ることになる。士業者は多くなったし、今後士業間の越境問題が生じるから、心の器が小さいままだと発展・繁栄が難しい。税理士界でも弁護士界でも、現状の苦境を脱するには、従来の常識に捉われない心の器のとてつもなく大きなアホがほしいところだね。

先生がフェイスブックで言いたかったのは、大きな想像力を持つ心の器の大きなアホの方が、幸福になり、成功するというのでしょうか。

知能指数の高さや真面目さより、アホになることが重要だというメッセージだね。

(つづく)